

## 平成 24 年度における契約状況のフォローアップ

平成 25 年 8 月

独立行政法人日本芸術文化振興会

## 1. 平成 20 年度と平成 24 年度に締結した契約の状況

(単位：件、億円)

	平成 20 年度		平成 24 年度		比較増△減		見直し計画	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
競争入札等	(53.1%) 172	(21.5%) 22.6	(51.7%) 168	(23.0%) 20.4	(△1.4%) △4	(1.5%) △2.1	(64.5%) 209	(28.9%) 30.3
企画競争・公募	(3.1%) 10	(1.0%) 1.0	(4.3%) 14	(0.9%) 0.8	(1.2%) 4	(△0.1%) △0.2	(3.7%) 12	(1.0%) 1.0
競争性のある 契約 (小計)	(56.2%) 182	(22.5%) 23.6	(56.0%) 182	(23.9%) 21.2	(△0.2%) 0	(1.4%) △2.3	(68.2%) 221	(29.9%) 31.3
競争性のない 随意契約	(43.8%) 142	(77.5%) 81.1	(44.0%) 143	(76.1%) 67.6	(0.2%) 1	(△1.4%) △13.5	(31.8%) 103	(70.1%) 73.4
合 計	(100%) 324	(100%) 104.7	(100%) 325	(100%) 88.9	( 0%) 1	( 0%) △15.8	(100%) 324	(100%) 104.7

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 比較増△減の( )書きは、平成 24 年度の対 20 年度伸率である。

(注3) 「見直し計画」の計数等は、「独立行政法人の契約状況の点検・見直しについて (平成 21 年 11 月 17 日閣議決定)」に基づき公表したものである。

## 2. 見直し計画に掲げた競争性のない随意契約の割合に到達しなかった主な理由

これまでの見直しにおいて、一般競争入札等に移行できる案件はすべて移行しているが、劇場業務特有の業務について履行可能な業者が一者しかない案件があること、また、従来、一般競争入札により契約していたもののうち、既設の舞台機構設備と密接不可分の関係にあり、当該設備施工者が企業秘密に係る等の理由から関連情報の一般開示に応じず他の業者との契約が不可能な案件について、競争性のない随意契約へ移行したものがあることによる。

## 3. 平成 24 年度における競争性のない随意契約のうち、会計法等の規定により随意契約によることができるとされている場合に相当する契約

件数： 123 件 (86.0%)

金額： 67.2 億円 (99.4%)

### 会計規程第 24 条第 1 項第 1 号に相当する契約で案件ごとに契約担当役の決裁を得ているもの

件数： 20 件 (14.0%)

金額： 0.4 億円 (0.6%)

#### 4. 一者応札・応募の改善状況

(単位：件、億円)

		平成 20 年度	平成 24 年度	比較増△減
2 者以上	件数	131 (72.0%)	132 (72.5%)	1 (0.5%)
	金額	17.0 (72.0%)	12.8 (60.0%)	△4.2 (△12%)
1 者以下	件数	51 (28.0%)	50 (27.5%)	△1 (△0.5%)
	金額	6.6 (28.0%)	8.5 (40.0%)	1.9 (12%)
合 計	件数	182 (100%)	182 (100%)	0 (0%)
	金額	23.6 (100%)	21.2 (100%)	△2.3 (0%)

(注1) 計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

(注2) 合計欄は、競争契約（一般競争、指名競争、企画競争、公募）を行った計数である。

(注3) 比較増△減の（ ）書きは、平成 24 年度の対 20 年度伸率である。

#### 5. 一者応札、一者応募に係る改善方策 (URL <http://www.ntj.jac.go.jp/about/procurement/info.html> ) ※リンクを張って下さい。

「関係法人等が契約の相手方となった案件」について、いずれかの契約区分で該当がある場合

6. 法人と一定の関係を有する法人（関係法人等）との契約状況 ※該当がある場合

（単位：件、億円）

		関係法人等が契約の相手方となった案件	二者以上が 応札・応募した案件	
			関係法人等のみが 応札・応募した案件	
一般競争入札	件数	0		
	金額	0		
指名競争入札	件数	0		
	金額	0		
企画競争	件数	0		
	金額	0		
公募	件数	0		
	金額	0		
小計	件数	0		
	金額	0		
競争性のない 随意契約	件数	3	—	—
	金額	50.4	—	—
合計	件数	3	—	—
	金額	50.4	—	—

（注1）「独立行政法人の行う契約に係る情報の公表について」（平成23年6月3日内閣官房行政改革推進室長）により、平成23年7月1日以降に公示・公募等がされた案件のうち、独立行政法人と一定の関係を有する法人が契約の相手方となる案件については、当該法人との間の取引等の状況等を公表することとされている。

（注2）計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計において一致しない場合がある。

（注3）関係法人等とは、以下の類型に該当する法人をいう。

（1）関係法人：次の①及び②のいずれにも該当する法人

①当法人の役員経験者が再就職している、又は課長相当職以上の職の経験者が役員等として再就職している。

②総売上高又は事業収入に占める当法人との間の取引割合が3分の1以上である。

（2）特定関連会社：「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」第107に規定する会社（当法人が議決権の過半数を所有等）

（3）関連会社：「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」第118に規定する会社（当法人が議決権の100分の20以上を所有等）

（4）関連公益法人等：「独立行政法人会計基準」及び「独立行政法人会計基準注解」第129に規定する公益法人等（理事のうち当法人0Bが占める割合が3分の1以上等）